

評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和5年 11月 17日

事業所名	24時間宅老所楽さん家
担当者名	池田 真司
連絡先	24-6611

運営推進会議等での評価実施日 令和5年9月14日

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(別紙1)自己評価・外部評価 評価表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

(別紙2-2)事業所自己評価

(別紙2-4)サービス評価総括表

看護小規模多機能型居宅介護

(別紙3-3)運営推進会議における評価

認知症対応型共同生活介護

(別紙2の2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係

E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を玄関や事務所に掲示している。事業所理念について、見直しが不足し理解と実践ができていない現状がある。今後、実践に繋げるようミーティング等で共通認識する必要がある。			会社理念が玄関に設置されています。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は地域イベントとして、子ども神輿の中止や施設内での新型コロナウイルス発生影響により、感染拡大を考慮し中止となり、地域交流が出来ていない。	地域との繋がりを持つ為に、地域行事の参加をして行く事が重要です。感染症の問題がまだまだありますが、徐々に通常生活に戻せる事が大切です。また、認知症に関する講座の開催や、介護保険制度に関する話、グループホームの説明等地域の方への伝えていく事が重要です。		屋内で、誕生日会や食事作りイベントが行われています。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年5月より、運営推進会議が開催できるようになり、委員の皆様へ利用者の現状報告やサービスでの取り組みについての評価を頂けるよう、意見をもらいサービス向上に繋げていきたい。また、入居者は勿論職員も今後参加し、サービスの取り組み状況等報告できるよう活かしていきたい。	運営推進会議内で入居者の方との直接的な話を聞いてサービス内の状況把握や、食事会等イベント開催により取り組み状況が分かりやすく把握ができるのではと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者を中心に情報や相談等、連絡を取り合うと共に、BCP作成やマニュアル等の作成・更新のため、市と相談・連携をとる事が出来ている。職員の市町村との繋がりが乏しい現状である為、知る機会が必要と感じる。	市との繋がりはとても大切な事です。地域防災部合同訓練等を行い、防災についての現状や課題等を見つけ、市の協力により問題解消できるようになればとても良い事です。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議を年に4回実施している。研修については、新型コロナの影響により職員へ研修資料等配布し高齢者虐待防止研修を行った。職員一人ひとり意識統一を図っている。玄関施錠時間については、日中9時～18時までを夜間施錠している。転倒、転落等の切迫性のある方へは家族に了承を得て、センサーマット等に対応している。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止についての適正化会議の議事録より、入居者への声かけについて、職員間で助言し合う環境づくりに取り組まれています。職員の意識統一が図られており、やむを得ない場合の対応も適切に図られていると思います。運営推進会議内においても、身体拘束適正化に伴う、高齢者虐待防止対策に関わる取り組み資料が配布されている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング時に管理者より話を行っている。高齢者虐待防止対策研修開催については資料配布での実施を行っている。職員はひやりハット報告書、事故報告書を用いて、情報共有が出来るよう、職員がいつでも確認できるように供覧している。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意識を高める努力をされており、適切だと思います。利用者の意思をできるだけ尊重されるように、センサーマットを使い行動制限をしないケアが行われています。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方々一人ひとりに尊厳を持ってより良い生活ができるよう、入居者ご本人に必要な支援をご家族へ情報提供を行い、話し合い、支援に結びつけている。成年後見制度についての研修についてはあまり行っていない。職員が学ぶ機会を作っていく必要がある。成年後見の相談等があれば、関係機関への橋渡しを行うと共に、必要な場合等、関係機関へ相談し、対応している。	/	/	

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約内容に関して不明な点がないか確認をしながら説明し、同意を頂いている。改定時についても同様である。不安や疑問に思うことがあれば気軽に相談できるように雰囲気作りに気を付けている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の支援の中での入居者本人からの意見、要望の内容や家族との電話連絡時等の意見、要望の内容を、要望シートにまとめ全職員が共有できるようにしている。必要に応じて、全体会議を開催し改善策等を話し合っている。玄関には意見箱を設置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望シートを活用され、入居者の方からの意見も取り入れられていると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が意見収集等を行い、運営に関する意見や提案を聞いているが、個別面談は行えていない為、年1回以上の面談実施が必要である。業務改善が必要な場合は会議の開催により決議を行っている。代表決裁が必要な場合は、経営会議で伝え改善に向けた相談をしている。代表者への意見が届きづらい状況にある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの介護技術や知識向上に向けて必要とされる研修等情報提供を行い、研修を受講しやすい環境を整えている。人事考課制度が不十分な状況にある。就業環境について、職員からの意見等必要時は管理者から代表者へあげている。取得資格や勤続年数に応じた実績による賃金テーブルを設定している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方のモチベーションを高める為にも、人事考課を格付しても良いと感じます。就業環境が人員不足によりひっ迫し、本来のサービス等実施できず、職員の方は疲れが溜まる環境にあると思います。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設外研修について、職員からの受講希望や管理者から研修の情報発信等を行い、要望に応じて勤務配置等の配慮を行っている。キャリアアップ制度構築にまだ課題があるが、個人目標シートを作成し実践している。成長成果がでていない現状にある。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	取り組みをしようとする姿勢が伺えます。キャリアアップの制度を格付しても良いと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム協会、グループホーム連絡会、東圏域グループホーム協議会等の学習会参加や情報交換会等行っていきたいが参加があまりできていない。法人内でのグループホーム合同の学習会等も行っていく必要がある。	/	/	
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存機能を活かし、出来る事を維持向上する支援や常に入居者の方に尊重の念を持ち接することを心掛けている。入居者の方一人ひとりが自由に喜怒哀楽感情の表出ができるよう、気を遣われないような環境作りに努めると共に、笑顔で過ごしてもらえる暮らしを支援している。意思疎通が困難な方であっても、声掛けやスキンシップを行うと共に、傍に寄り添う支援を行っている。自立支援の観点での取り組みがもっと必要であるが、職員業務が多くあり実施があまりできない現状にある。	/	/	

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みのある家具や品物を出来るだけ設置している。施設内新型コロナ発生の影響により、家族等の来訪が難しくなっている現状にある。窓越し面会できる環境を作っている。馴染みの人や場所との支援は行えていない。	馴染みの人の繋がりを維持できる事はコロナにより難しい現状にある。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回のミーティング内で意見交換を行っているが、御家族も含めたケース検討等の実施はできていない為、実施していきたい。日々携わる中で聞き取った情報等、要望シートやアセスメントシートにまとめている。認知症介護の基本として入居者本人に合ったコミュニケーション等の関わり方を考え、想いや希望に添えたケアが出来るように努めている。意思疎通困難な方については、家族へ相談し入居者本人の想いに近づけた支援を考え実施している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方々の課題を職員内でアセスメントシートを活用、抽出し、解決していくための介護計画書の原案を作成している。現在モニタリングの在り方、評価しやすい目標について検討している。ケース担当者含めた連動に課題がある。	本人、家族からの意見が反映された介護計画を作成する事が大切な為、ミーティングや、面会時等利用し家族等意見を聞く機会を作る必要がある。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	実践として、良く行われていると思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の申し送りや個別記録、業務日誌と合わせ職員が気づいた点などを書き職員間で共有できるようにしている。ケアプランに基づいたケアの実践を具体的に記録		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時に対応して下さる職員の方が、日頃の様子や課題を十分説明をして頂けます。ケアプランに基づいたケアを実践し、変更があれば随時更新体制がとれると良いと思います。

				し、実践できるようにしていきたい。			
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状況や介護度の変化等状況に応じて家族と照らし合わせながら随時相談し対応している。要望に沿った支援が実現可能になるよう、家族への協力を頂けるよう努めていきたい。介護サービスにあたり、人材不足の為実践できない現状にある。	本人家族のニーズに対して、柔軟に対応できる環境を整えるよう、近況の報告や電話連絡等行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、施設内新型コロナウイルスの発生影響により、外出支援が出来ていない。施設内でできるイベント(食事作り、誕生日会、納涼祭、運動会、クリスマス会)等、ささやかではあるが職員間で起案し実施している。	外出支援の取り組みができるようになっていければと思います。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24 時間往診対応可能な医療機関と関係性を築き、看取り支援まで可能な体制を確保している。入居者本人や家族の希望に添えるよう、医療的ケアについてや終末期支援についての意思確認書を作成し、主治医へ情報共有を行っている。適切な医療を受けられるよう、医療的ケアについての方針や終末期についての方針について、家族の方が理解できるよう必要に応じて、主治医の説明を受ける機会を設けている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は看護職員、管理者または介護職員が家族と同伴し、入院先の医療機関や医療機関内地域連携室との連携を図る為、口頭での情報提供含め情報提供書の提出を行っている。入院期間について、経過状況等を情報交換を行うと共に、退院時に備えての相談を行っている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	しっかりと連絡の体制が出来ていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化指針の内容を家族に説明し、同意を頂いている。また、契約時に重度化した場合や終末期の方針についての意向確認を行い書面を交わしている。また、本人の状態が変化した際にも、再度意向の確認を行っている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合、グループホームでの対応は難しい事も多いですが良く対応されていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変対応マニュアルを作成し、急変時は迅速に対応できるよう、電話横に配置している。急変対応急対応についての研修の実施は現在、定期実施はできていない。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	火災に関して、年2回避難訓練を実施している。地震・水害等の防災訓練については年1回実施している。新型コロナウイルスの影響により中止していた地域防災部の方々との合同防災訓練については10月実施予定としている。	地域の合同防災訓練の実施を定期的に行い、災害時対応の協力体制を強化できればと思う。	A. ④十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域と協働しながら避難訓練を行い、業者とも良く連携を取られており、適切に対応できていると思います。
----	------	---	---	---	---	---	---

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの配慮の為、トイレ誘導時や入浴等の声かけは個別に行うようにしている。不適切な言葉かけのないよう、職員一人ひとりが意識している。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方の言葉かけ等見ても適切に行われていると思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	人員不足により、余裕がない時がある。入居者のペースに合わせてゆっくりと行える環境を作りたい。現在職員ペースの状況がある。日頃より、入居者の方々の要望に沿えるよう伺いながら、健康状態や精神状態の把握に努め、可能な範囲で、職員間で話し合い実践していきたい。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化に伴い、できる入居者が少ない面がある。ささやかでも、テーブル拭きや食器洗いなど一緒に行う支援を心掛けている。また食事作り等のイベントを起案し、実施している。介護度が高くなり実施困難になってきているが、本人の残存機能を見極め支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居されている方が食事を楽しめる様、努力をしておられます。イベント等も実施され良い取り組みだと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事形態について、入居者の方々の口腔内の状態や嚥下状態等、看護師や協力歯科医療機関の歯科医師、歯科衛生士へ相談し食事形態を決めている。形状について入居者より希望がある場合等は、再度歯科医師へ相談し、できるだけ応じた形状で提供している。水分量については、個別に水分チェック表を作成し、体調管理をしている。水分が足りない方ではあれば、その人の嗜好に合った飲み物を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを実施している。入居者本人に合った口腔ケア用具を使用している。義歯を使用している方は、就寝時に声かけを行い、洗浄液に付けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの支援に努められていることが理解できました。適切にケアされています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心や羞恥心に配慮した言葉かけを行い、自立支援を促す声かけを行っている。排泄時間については、個人記録へ排泄時間等記録し、パターンを把握し誘導を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録に排泄時刻も記録されており、排せつパターンの把握に努められています。適切にケアされています。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	現在入居者希望に応じてた入浴支援ができていない。入浴時は、羞恥心に配慮した対応を行うと共に、ゆったりと入れるように対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の睡眠状況に合わせて必要に応じてお昼寝支援などの声かけを行っている。就寝中は、生活習慣に合わせて、電気の光量の調整を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がいつでも確認できるよう、内服ファイルを作成、設置し確認できるようにしている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切にケア出来ています。内服の説明書をファイルに入れて分かりやすく管理されています。内服薬など、事故防止に注意されています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴での情報把握不足があると感じる。今後の支援に結びつけるよう取り組みたい。入居者一人ひとりに合った役割を持ってもらえるよう、言葉かけを行うと共に、職員と一緒に行動することで関わりも増え一日の楽しみや喜びに繋がるように支援していきたい。	食事作りイベントや個別支援の実施を行っていく必要がある。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、日常的な外出支援には至っていない。今後少しずつでも実施していきたい。入居者の方々の体調に合わせて、買い物や近隣への散歩や庭に出て外気浴等を行い気分転換を図っている。	外出支援が普通にできる環境になれば、行っていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	日常的に買い物する機会が現在ない為、実施できていない。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電話に関しては、こちらからかける場合等、事前に相談し了解があれば実施するようにしている。今後、年賀状や、暑中お見舞い等はがきや手紙を送れるように支援していきたい。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	関係性の構築や季節感に合った花を飾ったり、四季に合った行事を考えて、入居者の方々が快適に過ごしていただけるスペースを提供している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節感を感じる空間作りが出来ていると思います。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の方々一人ひとりのペースに合わせ発言をもとに環境整備を行っている。意思疎通困難な方へは推測や検討しながら生活の在り方を検討している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響により、人と会ったりするのが難しくなっている。職員間で情報共有し入居者の方々の支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	担当職員を中心に生活の在り方や環境等について見直している。看護職員、介護職員で入居者の方々の体調の変化を早期に確認		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護と看護が連携し、入居者の変化について確認出来る体制を取られていると思います。

				し情報共有することで日々のケアに努めている。			
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や本人のペースを大事に関わっている。個別支援やイベント開催など出来る限り行える環境作りや業務体制を行っていく。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室内の物品については出来るだけご本人の馴染みの物を持ってきてもらい、環境変化を最低限防ぐよう努めている。		①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合った環境が作られています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ④ほとんどできていない	外出できていない為、本人の意向、希望に沿った外出、買い物やイベント参加等出来ていない。	今年の地域行事について、子供神輿イベント等コロナの影響や熱中症の危険の為中止している。次回地域行事は開催し、入居者の方と行えればと思います。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	情報収集を行い、生活の中で家事手伝いや、本人の嗜好とする事(編み物、折り紙、カラオケ、カルタ等)を支援できるよう、アプローチを行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビの内容やアルバムを観ながら、回想する場面を作ったり、季節の話題作り等、短時間であるが行っている。今後、個別に関わる時間を作る事や、日中時間に、運動支援、口腔体操等共通支援の時間を作り、その中で関わりを深め、会話を行っていきたい。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切にケアされています。家事や、買い物支援等、今までの生活が続けられるようにされています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響により、日常生活に戻るには時間が掛かる事が考えられる。今後地域との交流について行っていく事が必要であり、課題である。	コロナの影響により、交流ができていない現状です。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員は、入居者一人ひとりとの関わりの中で、笑顔が増える関わり方を常に意識し行っている。新型コロナウイルスの影響がまだ続いており、入居者の命に係わる為安心できる生活まで時間がまだ必要な状況にある。地域の方々との防災避難訓練等の実施により、地域との繋がりをきっかけに地域に馴染んだ運営をしていきたい。今できる事に最善を尽くすよう、意見を出し合いイベントを起案し、実施を行っている。</p>	<p>コロナの収束まで、まだまだ時間が掛かる状態にあります。入居者様の安全安心した生活支援の継続ができるよう頑張っていたいただければと思います。</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>グループホームの機能を最大限生かしながら、又、地域とも連携しながら適切な運営をしておられます。</p>
----	----	---	--	---	--	--	--

目標達成計画

事業所名 24時間宅老所 楽さん家

作成日: 令和 5年 11月 17日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	職員を育てる取り組みについて、法人内外研修の参加が出来ていない。	法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め、キャリアアップの構築を促進していく。	職員一人ひとりの専門性向上を図る為、研修の参加の促進を行う事や、個人面談を通し一人ひとりの力量の把握を行い、個人の成長成果を目指す。	12ヶ月
2	24	応急・急変(初期)対応による訓練(演習を含む)の定期的訓練の維持。	事故防止の取り組みや事故発生時(急変含む)の備えについて職員全員の知識・意識向上を目指す。	入居者の一人ひとりのリスク対応方法を検討し、看護職員による応急対応や初期対応についての説明・演習訓練を行なっていく。 外部研修等へも参加し、AED等の取り扱いを学ぶ。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。